

## 実社会対応プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「人口減少地域社会における安心しうるケア・システムの構築と生活基盤の整備」

◆研究テーマ:「データベース解析に基づくケア・システムの地域特性の把握と福祉まちづくりデザイン」

### <研究代表者>

**佐無田光**: 金沢大学人間社会研究域経済学経営学系/教授



<専門分野> 地域経済学

<Webページ>

<http://samuta.w3.kanazawa-u.ac.jp/html/samuta/index.html>

研究期間: H27.10~H30.9 委託費総額: 11,230千円

### <研究計画の特徴>

- ① データ的裏付けを伴った施策展開の手順を提示する
- ② 人社・医薬・理工の領域にわたる学際的な研究チームを組織
- ③ 自治体・実務者と連携した調査や社会実装を研究プログラムに含む

### <研究目的・概要>

- 課題**
- ・健康長寿社会と社会保障費の総額抑制
  - ・予算制約下の既存施設の有効活用

### 地域特性にあったケア・システムの実現

- ・国保データベース、診療データ、国勢調査等を組み合わせて高齢者福祉の地域実態を解析
- ・データ解析で得られた知見をGISで「見える化」して、地域福祉や都市計画に活用

### 福祉まちづくり政策のデザインおよび評価ツールの開発

### <目標とする研究成果>

- (1) 国保データベースの高度活用ツールの開発
- (2) GIS技術による高齢者福祉に関わる空間・時間情報の可視化
- (3) 地域特性データに基づく住民理解促進と地域包括支援センターや自治体と連携したアクションプラン、将来計画への反映
- (4) 地域特性に応じた福祉まちづくり政策のデザインおよび評価ツールの開発